



財政運営に関する基本的な考え方について
志政会 志野 誠也

問 市の財政運営の基本的な考え方について伺います。

答（市長）：近年、市税収入の伸びが十分に期待できない中、少子高齢社会の進行など課題が山積しています。市では、従来からの財政運営の理念として、「持続可能な都市経営」を掲げて中期財政ビジョンの策定を行い、総合計画における事業の実効性を高めるとともに、将来にわたる持続可能な行政基盤を確立するための財政運営の指針としています。

答（財務部長）：中期財政ビジョンは、策定の目的が、限られた財源の適切かつ効果的活用、自己決定・自己責任に基づく自立した財政運営の指針、そして、適切な財源配分の裏付けとすることの3点であり、自治基本条例に定められていませんが、その主旨に沿ったものと解釈しています。また、中期財政ビジョンの中で公共施設の更新費用は全体推計を考慮しています。現在、公共施設白書により現状分析を行っています。今後、膨大な更新費用がかかると考えており、まちづくりのひと段落後には、施設の維持管理や再編が市政運営上の大きな課題になってくると考えます。

その他の質問

- ・市民活動の推進事業のあり方について
- ・担当課の情報収集としてのフェイスブックなどSNSの活用について



市内の介護施設入所居住者の現状と今後について
志政会 宇田川 希

問 2025年には、日本の総人口の2割が75歳以上の後期高齢者になると見込まれ、急速な高齢化によって、自治体が特別養護老人ホームを整備する以上のペースで待機者が増加しています。市内の介護施設の現状と、今後の方向性について見解を伺います。

答（市長）：12年の介護保険制度開始後、本市は高齢者プランを策定し、特別養護老人ホームやグループホームなどの整備を進めています。

しかしながら、施設整備は直接介護保険料に影響を及ぼすため、慎重な対応が必要であります。今年度策定する第6期高齢者プランでは、市民や利用者の意向を把握し、介護サービス事業と保険料のバランスを考慮しつつ待機者の減少に取り組みます。

答（保健福祉部長）：市内には特別養護老人ホームが7カ所（今年度8カ所）、老人保健施設2カ所、グループホーム5カ所、介護付有料老人ホームが8カ所あり、介護保険適用外の住宅型有料老人ホームが2カ所、サービス付き高齢者向け住宅が2カ所あります。4月1日現在の待機者は339人であり、今後解消に向けて検討します。

その他の質問

- ・柏ヶ谷、東柏ヶ谷地域における諸問題について



財源対策について
創新海クラブ 鈴木 守

問 24年度決算書の財産に関する調査によれば、行政目的に使用されていない土地である普通財産が前年度末より、4千356㎡増加し、5万190㎡あるとされています。

使用されていない土地を漫然と保有していても、維持管理費がかかるだけで何ら効果を得られません。完全に使用予定のない土地は処分していくべきと考えますが、市の見解を伺います。また、以前から公共施設白書の策定が急務だと訴えてきましたが、早速、公共施設白書策定事業を開始していただきました。現在の公共施設白書策定の進捗状況について伺います。

答（市長）：まちづくりが正念場の今、本市の財政運営は厳しい状況です。西口区画整理事業をはじめとする市の公共投資は、将来の市税収入を涵養するものですが、財源確保のためには、行政目的に使用しない普通財産を積極的に売却していくことも重要だと考えております。

答（財務部長）：公共施設白書策定は、現在施設の現況調査、利用実態調査、各種施設の配置状態の整理が終了しました。さらに将来コストの推計を行い、実効性の高い公共施設白書となるよう作業を進めます。

その他の質問

- ・野外教育活動充実授業について



更なる防災・減災について
志政会 永井 浩介

問 阪神・淡路大震災では、火災や家屋倒壊による生き埋めなどの被害がありました。が、自力や家族、また地域の力で約98%の方が救助されたというデータがあります。本市においても、災害発生時には同様な被害が想定されることから、自助・共助が大切です。しかし、消防車の保有台数などでも公助の限界を痛感しており、一方で自助・共助・公助の違いや役割が浸透していないとも感じます。そのため、それぞれの責務を整理する条例を制定することで、予算配分もメリハリがつくのではないかと、前回3月定例会で提案しました。

現在、検討を進められている条例の進捗状況について、また理念条例ではなく責務に関しても踏み込んだ内容になるのか、さらに市民の責務にも関係します。パブリックコメントなどを実施する考えがあるのか、市の見解を伺います。

答（市長）：災害に強いまちづくりには条例制定が必要と感じ、現在、自助・共助・公助の責務を記載した（仮称）海老名市災害対策基本条例の素案作成中です。今後庁内での検討を進め、パブリックコメントを実施し、9月議会上程を予定しています。

その他の質問

- ・教科書などの使用について
- ・教科書採択について
- ・新たな魅力の創造について